

平成20年9月の火災・救急・救助ニュース

火 災

1 火災概況

▲は減を示す

区 分	本 9 月	前 9 月	本 年 累 計A	前 年 同 期 計B	増 減 A－B
出火件数合計(件)	13	12	96	131	▲35
建物火災	8	6	45	54	▲9
林野火災	0	0	5	19	▲14
車両火災	1	0	11	11	0
船舶火災	0	0	0	0	0
その他の火災	4	6	35	47	▲12
死者(人)	0	0	5	4	1
負傷者(人)	1	2	10	18	▲8

2 出火原因

▲は減を示す

区 分	本 9 月	本 年 累 計A	前 年 同 期 累 計B	増 減 A－B	区 分	本 9 月	本 年 累 計A	前 年 同 期 累 計B	増 減 A－B
たばこ	0	7	12	▲5	配線器具	0	1	3	▲2
こんろ	1	7	9	▲2	火あそび	0	1	10	▲9
かまど	0	0	0	0	マッチ・ライター	0	0	1	▲1
風呂かまど	0	1	0	1	たき火	2	16	15	1
炉	0	0	0	0	溶接機・切断機	0	2	1	1
焼却炉	0	0	3	▲3	灯 火	0	0	0	0
ストーブ	0	5	6	▲1	衝突の火花	0	0	0	0
こたつ	0	0	0	0	取 灰	0	0	0	0
ボイラー	0	0	0	0	火 入 れ	0	1	8	▲7
煙道・煙突	0	0	0	0	放 火	0	8	4	4
排気管	0	0	1	▲1	放火の疑い	0	12	22	▲10
電気機器	0	2	4	▲2	そ の 他	1	9	19	▲10
電気装置	0	3	0	3	不明・調査中	9	21	11	10
電灯・電話等の配線	0	0	2	▲2	合 計	13	96	131	▲35
内燃機関	0	0	0	0					

【コンロ火災が増加しています】

9月は火災が13件発生してそのうち建物火災が8件(うち住宅火災6件)発生しました。建物火災は前年同期と比較すると2件増加しました。津市消防本部では前回8月の火災・救急・救助ニュースや新聞報道でも注意を促していましたが、この間、天ぷら油の入った鍋をこんろで過熱したままその場を離れてしまい住宅を全焼した火災が発生しました。この火災による負傷者などはありませんでしたが、このようにというっかりのコンロ火災がここ数ヶ月の間に数件連続して発生しています。コンロで調理中にその場を離れるときは必ず火を止めて下さい。ちょっとした注意で火災を防ぐことができます。火の取扱いはくれぐれも慎重をお願いします。

救 急

1 救急概況

区 分	本 年 9 月	前 年 9 月	本 年 累 計 A	前 年 同 期 累 計 B	増 減 A－B
出 動 件 数	912	942	8,515	8,426	89
搬 送 件 数	847	892	7,934	7,848	86
不 搬 送 件 数	65	50	581	578	3
搬 送 人 員	868	912	8,109	8,083	26

2 事故種別出動件数

▲は減を示す

区 分	本 年 9 月	本 年 累 計 A	前年同期 累 計 B	増 減 A－B	区 分	本 年 9 月	本 年 累 計 A	前年同期 累 計 B	増 減 A－B
火 災	1	17	19	▲2	一 般 負 傷	136	1,226	1,143	83
自然災害	0	0	0	0	加 害	4	52	47	5
水難事故	1	11	9	2	自 損 行 為	7	104	107	▲3
交通事故	128	1,015	1,060	▲45	急 病	546	5,272	5,229	43
労働災害	7	78	91	▲13	そ の 他	73	691	667	24
運動競技	9	49	54	▲5	合 計	912	8,515	8,426	89

救 助

1 救助概況

区 分	本 年 9 月	前 年 9 月	本 年 累 計 A	前 年 同 期 累 計 B	増 減 A－B
出 動 件 数	10	6	103	91	12
活 動 件 数	7	3	64	54	10
救 助 人 員	7	6	76	74	2

2 事故種別出動件数

▲は減を示す

区 分	本 年 9 月	本 年 累 計 A	前年同期 累 計 B	増 減 A－B	区 分	本 年 9 月	本 年 累 計 A	前年同期 累 計 B	増 減 A－B
火 災	1	7	21	▲14	建物等による事故	0	7	7	0
交通事故	5	53	52	1	ガス及び酸欠事故	0	1	0	1
水難事故	2	9	8	1	破 裂 事 故	0	0	0	0
風水害等自然事故	0	0	0	0	その他の事故	2	24	3	21
機械による事故	0	2	0	2	合 計	10	103	91	12

【救急車の正しい利用をお願いします】

昨年と比較し交通事故など減少している救急出動もありますが、急病・一般負傷などの救急出動が増加しており全体的に救急件数は増加しています。

同じ地域で救急が発生した場合には他の地域の消防署から出動しなければならず救急車の到着が遅れることとなります。そういった場合、尊い命が危うくなる結果になりかねません。救急車を必要としない場合はタクシー等を利用するなど「救急車の正しい利用」にご協力をお願いいたします。